

2024年10月18日

お客様各位

京葉システム株式会社

## TLS1.0 無効化に起因した 人事労務システムの起動障害について

平素より、弊社人事労務システムをご利用いただきありがとうございます。

トランスポート層セキュリティ（以下 TLS）プロトコル バージョン 1.0 および 1.1 には、いくつかの脆弱性があり、TLS 1.2 以降への移行が推奨されております。この情報を受け、

TLS1.0 / 1.1 の無効化、TLS 1.2 の有効化を実施した場合に、特定の環境下で弊社人事労務システムの一部プログラムが起動しないという報告がございました。

発生原因や対応状況をご報告いたします。

### 1. 発生原因

弊社人事労務システムでは、Microsoft Data Access Components（以下 MDAC）と呼ばれる、Windows OS に搭載されたテクノロジーを利用してデータベースに接続しておりますが、一部のバージョンの Windows OS では、MDAC が TLS 1.1 および 1.2 に対応しておらず、TLS1.0 を無効化してしまうとデータベースに接続できなくなってしまう、一部プログラムが起動できなくなりました。

### 2. 事象が発生する環境

以下の3条件をすべて満たす場合に、当事象が発生します。

- ① データベースが SQL Server であること。
- ② Web サーバーまたは管理クライアントとしてご利用いただいているオペレーティングシステムが Windows Server 2016 であること。
- ③ TLS1.0 を無効化する設定を行うこと。

Windows 10（バージョン 1809）及び Windows Server 2019 につきましては、Microsoft 社より MDAC の TLS1.1/1.2 対応版（※）が提供されており、Windows Update 等により適切に更新されている環境では、当事象は発生しません。

また、バージョン 1903 以降の Windows10、Windows11、Windows Server 2022 に関しては、当初より TLS1.1/1.2 に対応しておりますので、当事象は発生しません。

※更新パッチ：KB4580390

### 3. 影響がある弊社製品

TLS1.0 無効化により、特定の環境下で影響がある弊社製品は下記の通りです。

- 人事情報システム（チームワークス）
- 就業管理システム（タイムワークス）
- 給与計算システム（ペイワークス）
- 社員食堂管理システム（ランチワークス）
- 入退室セキュリティシステム（ロックワークス）

### 4. 弊社の対応について

当事象に該当するお客様に、MDAC テクノロジー内の、TLS1.1/1.2 に対応した別のコンポーネントを利用するように改修したプログラムを用意させていただく予定です。

現在、プログラムの修正および動作確認を行っている状況となりますので、TLS1.0 を無効化する予定がございましたら、時期などをお知らせいただきますよう、お願いいたします。

### 5. 関連情報

Microsoft 社の Azure サービスでは、TLS1.0 および TLS1.1 のサポートが 2024 年 10 月 31 日に終了する（無効化される）との案内が出ております。

対象となるのは PaaS（Azure SQL Database）のみであり、IaaS 上に SQL Server をインストールして構築された環境の場合は、Web サーバー等が Windows Server2016 であっても、お客様自身で TLS1.0 を無効化しない限り、本事象は発生しません。

なお、弊社システムは、PaaS（Azure SQL Database）の利用をサポートしていませんが、お客様裁量で PaaS をご利用いただいている場合、Web サーバー等で TLS1.0 を無効化しない場合でも、起動できないプログラムが発生することが予想されますので、ご注意ください。

以上